

渋谷区立広尾中学校 【2024年度 未来の学校ビジョン】

- 豊富な人材
 - ・教職員
 - ・スクールカウンセラー
 - ・スクールサポートスタッフ
 - ・学習支援員 図書専門員
 - ・家庭と子供の支援員
 - ・巡回心理士
 - ・心理実習生
 - ・ぴゅあサポートスタッフ
 - ・ユニテッドスタッフ・コーチ (部活動指導員、外部指導員)
 - ・PTA おやじの会
 - ・学校運営協議会
 - ・地域学校協働活動推進員
 - ・保護者OB・教職員OB
- 適切な予算執行
 - ・学校徴収金
 - ・学校予算等
- 特色ある授業と行事
 - ・各教科
 - ・探究「シブヤ未来科」
 - ・広尾ship (中高連携)
 - ・入学式、卒業証書授与式
 - ・運動祭
 - ・若木祭
 - ・3年修学旅行、2年スキー教室
 - ・各学年校外学習
 - ・有志合唱
 - ・1年職場体験
- 整備されたICT環境
 - ・タブレット一人一台端末
 - ・Quvena
 - ・Inspire High
 - ・Elsa Speak
 - + 生成AI
 - ・校務支援ソフトC4th

- ・ネットリテラシー教育
- ・未来の学校【デジタルと学び】ワーキンググループによるソフトウェアの活用研修 (上原中、松濤中、広尾中合同研修)
- ・言語活動を積極的に取り入れた、主体的・対話的で深い学びの実施。
- ・学校、行政、地域、企業がタイアップし、新たな学びを実現し、探究シブヤ未来科を推進。
- ・広尾shipでの都立広尾高校生徒及び教員との連携、交流、接続。
・小中連携、交流、接続。
・松濤中学校との連携、交流。
- ・はーとふる活動による生徒の困り感の解消及び生徒の「良さ」を発見する支援活動。
- ・教育ダッシュボードを活用した組織的ないじめ問題への対応を行い、いじめや困り感のSOSを見逃さない、いじめをしない・させない・許さない風土の醸成。
- ・ICT機器を活用した家庭との連携 Home&Schoolによる文書配布と保護者からの欠席連絡。
- ・C4thによる勤務状況の数値化。
・定時退勤努力日の設定。

- ・生徒がICT機器を日常的に使用し、進学後や将来において直ちに活用できる。
- ・一人一台端末を有効活用した授業 (思考の可視化)
- ・AI型教材による個別最適な学びの実現。

- ・未来を生きる生徒たちに必要な力である「探究的な学び」、「協働する力」を育てる。
- ・都立広尾高校と連携したシブヤ未来科の実施。
- ・小学生が「入学したい」と思える学校づくり。

- ・多様な生徒の個性、能力、発達段階に応じた活動による共生社会の形成。
- ・学級、学年のリーダーの育成を図り、互いの「よさ」を伸ばし合う。
- ・学年、学級を越えた探究学習。 ex「#ごみひろおープロジェクト」

- ・DXによる業務の効率化。
- ・オンラインによる他校との合同授業。
- ・出勤管理によるライフ・ワーク・バランスの推進。

- ・探究「シブヤ未来科」の授業に、教職員・生徒・地域・協力企業が一体となりチャレンジ
- ・ICT機器を日常的に使用し、「学びのツール」として活用できる能力の定着。
- ・言語活動の充実、「探究的な学び」による学習の定着。
- ・デジタル、アナログの長所を活かした教育環境のクリエイティブ化。
- ・豊かな心の醸成。
- ・コンプライアンスの徹底。

- デジタル技術を浸透させ、生徒の探究する力を育む授業デザイン的设计。
- 探究「シブヤ未来科」の授業はすべての生徒が生涯に渡るアクティブラーナー。
学びの変革 (未来の学校の実現)
- 教育ダッシュボード活用による、いじめ、体罰 (不適切な指導・暴言含む)、スクール・ハラスメントの根絶。
- 合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育。
安心・安全に挑戦できる環境
- 新たなソフトウェアの活用⇒学びの個別最適化⇒教員の負担減
校務DX+部活動地域移行モデル校 (働き方改革)